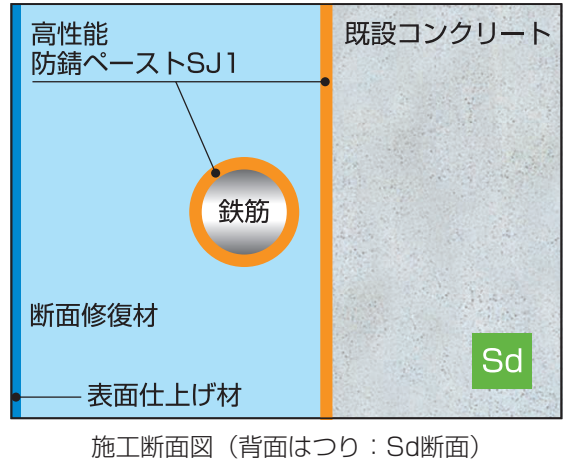


「塩分吸着剤」による塩害対策工法 SSI工法

NETIS登録番号：(旧) KK-100009-VE

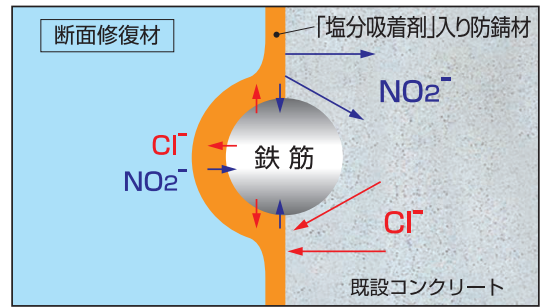
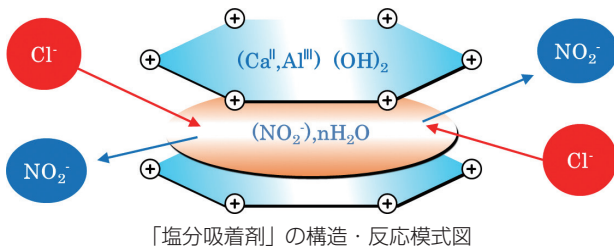
塩害対策工法研究会

〒186-0002 東京都国立市東1-4-13 COI国立ビル
 株ジェイアール総研エンジニアリング内
 TEL 042-501-2605 FAX 042-501-2838
 URL <http://ssikk.jp>
 mail info@ssikk.jp



概要

高度経済成長期以降に建設されたコンクリート構造物の多くに、塩害による劣化があり、(公財)鉄道総合技術研究所と旧日本道路公団試験研究所は、高防錆型断面修復工法「SSI工法」を共同で開発した。



施工20年経過後の追跡調査状況

本工法で補修した海岸沿い（海岸から35m）に位置する橋梁の桁について、施工から20年経過しても防錆効果が持続していることが確認できた。



補修20年経過後の鉄筋の状況

特長

SSI工法は、「塩分吸着剤」をあらかじめ配合した防錆材を鉄筋に塗布し、専用のポリマーセメントモルタルで断面修復を行う工法である。「塩分吸着剤」のイオン交換機能により、鉄筋の残存錆や周辺のコンクリート躯体に含まれる塩化物イオンを吸着無害化すると同時に、亜硝酸イオンを放出して鉄筋近傍を防錆環境へ移行させる。

本工法は、鉄筋位置の塩化物イオン量が10kg/m³未満かつ鉄筋腐食が軽度であれば、鉄筋半面までのはつり出し（Sa断面）で済むため経済的である。また、鉄筋の腐食が進行している場合や、鉄筋位置の塩化物イオン量が10kg/m³以上の場合でも鉄筋背面までのはつり出し（Sd断面）で対応できる。

施工実績

本工法は海岸に近い塩分の強い影響を受ける橋梁の上部工、下部工をはじめ、凍結防止剤が欠かせない寒冷地帯の高速道路など多くの適用実績（全国で1000件以上）がある。